

## 再発見 ふるさと風土記 上新城の伝説 シリーズ

### ① 唐櫃石(からといし)の秘宝

菅江真澄が残した「勝地臨毫秋田郡・四の其三」に「伝説の唐櫃石」が描かれている。右手に山越えのすず坂(篠坂)と唐櫃石が配され、中央に道川大滝がある。

巨大な唐櫃石の胎内におびただしい財宝が秘められていた。石は固く口を閉ざしているのに、いまだかつて誰一人その中を見たものがない。ところが、一年にたった一日、それもほんのわずか一刻、この石の口が開く時がある。

それは、旧暦正月の16日。この藪入りの未明、一番鶏と二番鶏の鳴く間だけ、石の中央に引かれた一条の線刻に沿って、パツクリ口を開けるといふのだ。

ある年の事、久保田の町から一人のならず者がやって来て、一夜、唐櫃石の傍らで機をうかがっていた。やがて東の空が白みかけ、待ちに待った一番鶏が鳴いた。「コッケコー、コーッ」。おののく胸をおしとどめ見つめることしばし、巨石は二枚貝のように音もなく二つに開いた。

石室の中は、折から上る朝の光を入れて、まばゆいばかりに輝いている。「俺の宝だーッ!」。男は狂喜乱舞して、逆さに首から突っ込んで、ころもくまで財宝の数々を見回した。

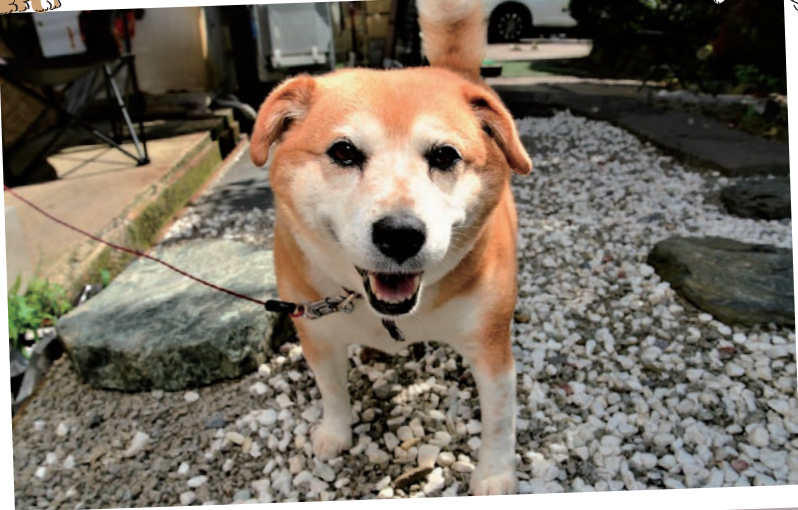
その時だった。「コッケコー、コーッ」。これはしたり、何たることか。里の二番鶏が鳴いてしまったのではないか。哀れ、男は身を退けるヒマもなかった。

日が昇り、村人たちが通りかかったとき、石にしがみついたまま、首のない死骸が一つ転がっていたという。それから後、生首といっしょに眠っているはずの宝を見た者はいない。

郷土史研究家 永田 賢之助



## 上新城のペット物語



vol.1

私の名前は もも

今から9年前、添川の山裾に放置され、カラスにいじめられていたところを今のご主人たちに救われました。推定10歳の女の子です。

しばらくの間、小又のおじいちゃんの古民家で生活していました。現在暮らしているお家は下五十丁にあります。優しい家族に囲まれ、とても幸せに暮らしています。

朝夕の散歩が大好きです。パパやママが連れて行ってくれます。上新城の人たちと出会ったり、のどかな風景や匂いに誘われて歩くのが、とても気持ちがいいです。お利口さんと褒められますが、おしとやかな性格、だと思っています。

でも、ちょっと嫌いなのが、バイクの配達屋さん。なぜなのかな～？ともあれ、これからものんびりと暮らしていければと願っています。

パパ・ママの名前は、渡邊 達夫・敏子(下五十丁)

## 人、モノ、風景 上新城 の宝物

### 冷水井戸っこ

この場所は保多野集落の北側に位置しており、石名坂への分岐点から100mほど小又方向に行った右側の山の麓にあります。いつ頃からあったのか、町内の先輩の方々から聞いても明解な回答は得られませんでした。

自分が子どもの頃はまだ家電製品もほとんどなく、夏場によく井戸に水を汲みに行きました。夏の暑い日でも涼しくて汗ばんだ身体は心地よく、水は冷たくてなかなか離れられず、しばらくこの場で休息していた記憶があります。

この井戸の維持管理については、町内の有志の方が自発的に年数回行って、来客者に喜んでいただけるように努力していると説明がありました。

#### 平成23年10月に設置された銘板の内容

その昔、この地が保多野村であった頃から住人の飲料水として、生活を支えてきた井戸である。

汗して飲んだこの冷水で元気をもらった人々から、いつしか「冷水井戸っこ」として知られる所となった。

水質は軟水で炊飯、お茶、コーヒー等の名水として、訪れる人は絶えない。



なお、長年途絶えたことがなかった井戸水ですが、異常気象との関連かどうかわかりませんが、今年の夏に一時的に湧水が途絶えた経緯があります。

このため、9月下旬に水質検査を実施した結果、検査した11項目の内10項目※については、**基準値の範囲内**となっております。

※大腸菌「陰性」、味と臭気「異常なし」のほか、有機物、pH値、色度、濁度、窒素類、ほか



基準値を僅かに超えた項目は一般細菌のみ。飲用に当たっては、沸騰させた後であれば問題なくお茶やコーヒーなどを楽しむことができます。

ぜひ、足を運んでみてはいかがでしょうか!!

保多野町内会会長 三浦 吉壽



上新城版

# さとぴあだより

# 11月



特別

さとぴあ 講座レポート

## 「秋田の料理を食し、 坐禅を体験する」



10月7日(金)

国際教養大学の学生さん

8名を対象に開催しました!

### 第1部

最初は、みんなの実家 門脇家で、郷土料理「だまご鍋」を作る体験。

講師は食農連携コーディネーターの赤沼 秀夫(あかぬま ひでお)さんです。

学生たちは野菜や鶏肉を上手に切った後、炊き上がった新米を“半殺し”につぶし、手のひらで丸めていきました。比内地鶏でダシをとった黄金スープに味付けをし、具材を入れて完成!7名が海外からの留学生でしたが、箸の使い方も慣れたもの。美味しそうに鍋を頬張り、おかわりもして満足した様子でした。



### 第2部



次は「上新城音頭を一緒に踊る時間」です。場所をさとぴあに移し、多目的ホールで迎えてくれた“ふるさと先生”から、踊り方を指導していただきました。いよいよ本番です。学生たちも加わり輪になって踊り始めました。

“ハア～、春～の～♪”

見よう見まねの踊りに、笑顔と不思議な表情を見せながら一緒に上新城音頭を楽しみました。

### 第3部



最後に、禅寺昌東院で「坐禅」を体験。

講師は副住職の辻 妙月(つじ みょうげつ)さんです。坐禅の心得と目的を聞き、坐り方の指導を受けました。

始めの合図で姿勢を正しくし(調身)、呼吸を整え(調息)、無言の落ち着き(調心)の状態に。10分と15分の2回坐禅を体験しました。自ら求めて「警策(けいさく)」を受け、神妙に取り組む学生も。

本堂の静けさに包まれ禅の世界を体感する、得難い貴重な経験となったようでした。

八柳 吉彦(二科会写真部会員)写真展

入場無料

## ウクライナに平和を “LOVE & PEACE”



日本と世界各地を撮影した作品の中から30点を展示します。ウクライナ支援を目的に、愛と平和(やすらぎ)を感じる写真を選びました。

日時 令和4年  
11月3日(木)～12月4日(日)  
10:00～18:00

場所 さとぴあ 玄関展示ホール

Pick up!

## 11月の体験講座

詳しくは裏面をご覧ください



11/23 水

赤い梅のごてんまり  
ストラップづくり

本荘の伝統工芸であるごてんまりを使ったストラップを作ります。



11/27 日

フレッシュグリーンの  
クリスマスリースづくり

フレッシュグリーンを使用したリース(20cm)を作ります。

## 11月の講座一覧

11/2 水  
歴史講座  
イザベラ・バードの記録

11/5 土  
縄文体験講座  
石器づくり体験  
【親子の部】【大人の部】

11/6 日  
干し柿作りと野菜収穫体験  
(昼食付)

11/8 火  
郷土料理講座  
味付けおこわとこはぜ漬け

11/12 土  
キムチ漬けと冬野菜を  
使った料理

11/15 火  
蜜蝋キャンドルと  
陶の燭台作り

11/17 木  
そば打ち体験講座

11/23 水  
赤い梅のごてんまり  
ストラップづくり

11/27 日  
フレッシュグリーンの  
クリスマスリースづくり

## 令和4年度 援農ボランティア募集!



詳細は  
お問い合わせ  
ください。

「上新城さとぴあだより・ふるさと瓦版」は、上新城地区の瓦版です。次号の配布は、1月5日・6日の予定です。地区の皆さんにお知らせしたい情報がありましたら、「さとぴあ」までお寄せください。

